

## 成果指標について

資料1-2

施策の柱	指標	現計画		第2期計画		今回の数値目標の設定根拠
		当初値 (年度)	数値目標 (年度)	現状値 (年度)	数値目標 (年度)	
1 文化芸術の振興	文化芸術を直接鑑賞した県民の割合	64.5% (R2調査)	75.0% (R7調査)	50.1% (R7調査)	75.0% (R12調査)	コロナ禍により、目標達成に至っていないため、現計画と同じ数値目標を設定
	「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産への来訪者数	949,741人 (R1)	1,000,000人 (R7)	909,243人 (R6)	1,000,000人 (R12)	コロナ禍により、目標達成に至っていないため、現計画と同じ数値目標を設定
2 文化芸術に親しむことができる環境づくり	自ら文化芸術活動を実践した県民の割合	21.5% (R2調査)	30.0% (R7調査)	18.2% (R7調査)	30.0% (R12調査)	コロナ禍により、目標達成に至っていないため、現計画と同じ数値目標を設定
	ふくおか県芸術文化祭の参加者数	81,181人 (R1)	100,000人 (R7)	83,216人 (R6)	100,000人 (R12)	コロナ禍により、目標達成に至っていないため、現計画と同じ数値目標を設定
3 障がいのある人の文化芸術活動の推進	文化芸術活動を行った指定障がい福祉サービス事業所の割合	50.8% (R2調査)	60.0% (R7調査)	37.6% (R7調査)	60.0% (R12調査)	コロナ禍により、目標達成に至っていないため、現計画と同じ数値目標を設定
	障がいのある人の文化芸術活動に関する施策(相談体制・支援者育成)への満足度 ※施策が「十分である」と回答した指定障がい福祉サービス事業所の割合	19.5% (R2調査)	40.0% (R7調査)	27.1% (R7調査)	40.0% (R12調査)	コロナ禍により、目標達成に至っていないため、現計画と同じ数値目標を設定
4 文化芸術を活用した地域づくりと魅力の発信	居住地域における文化的環境の満足度 ※居住地域の文化的な環境に「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した県民の割合	-	-	28.8% (R7調査)	40.0% (R12調査)	文化に関する世論調査(文化庁)において、過去3年間(R4～R6)で最も高かった年度(R4:37.7%)を上回る水準
	アクロス福岡「匠ギャラリー」来場者数	86,156人 (R1)	150,000人 (R7)	265,937人 (R6)	300,000人 (R12)	企画展の開催等により来場者数の増を目指す